

本日の案件は、1件でございます。

「令和7年度（2025年度）国・道及び関係機関に対する重点要望事項」がまとまりましたので発表させていただきます。

要望事項につきましては、最重点要望事項に変更した項目が2項目、新たに加えたものが2項目、内容を変更したものが8項目、前年と同じ内容のものが33項目の合計45項目でございます。

詳細につきましては、担当部長から説明いたします。

【総合政策部長】

今年度は、より重要と考える要望項目を『最重点要望事項』として、9項目選定いたしました。

1つ目が「太平洋沿岸における地域の実情に応じた地震・津波対策を推進するための支援の充実」

2つ目が「苫小牧駅周辺再整備への支援」

3つ目が「JR室蘭線及び日高線の維持存続」

4つ目が「JR新千歳空港駅から苫小牧方面へのアクセス向上」

5つ目が「物流効率化に向けた港湾機能の強化」

6つ目が「北海道運輸局苫小牧運輸支局（仮称）の設置」

7つ目が「ゼロカーボンシティの推進に向けた支援の拡充」

8つ目が「道道への昇格整備（苫小牧厚真通及び苫小牧登別通（仮称））」

9つ目が「室蘭児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置」

でございます。

また、「苫小牧駅周辺再整備への支援」及び「室蘭児童相談所苫小牧分室への一時保護所機能の設置」につきましては、昨年度は重点要望事項でしたが、今年度は最重点要望事項に変更しております。

新規要望は、重点要望事項の「緊急自然災害防止対策事業・緊急浚渫推進事業の継続延長」及び「今後の展望を見据えた苫小牧地域における工業用水の供給」でございます。

詳しい内容は、配布資料をご参照いただきたいと思います。

【市長】

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。